

## 【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-1-2																			
事業名	市道 3225 号線道路改良事業																			
事業費	総額 191,869 千円（国費 148,698 千円） （内訳：工事費 141,059 千円、測量設計費 11,886 千円、用地費 38,924 千円）																			
事業期間	平成 24 年度～平成 28 年度																			
事業目的・事業地区（必要に応じ、別紙として地図を添付）	本路線は、レベル 2 津波発生時の浸水区域である旭町 2 丁目地区から高台の市街地への避難路であるが、幅員が狭く車両のすれ違えない区間があったことから、迅速に避難できるように拡幅整備する。																			
事業結果	（整備後）	（整備前）																		
道路改良																				
工事延長	L = 160m	L = 160m																		
幅員	W = 6 m	W = 4 m																		
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 津波発生時には約 110 人の利用が見込まれ、当該地区から避難所までの時間が、徒歩の場合 14 分から 9 分に短縮し、乗用車の場合 8 分から 3 分に短縮された。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 太陽光発電システムを活用した道路照明灯を採用したことで、電気代が掛からずライフサイクルコストが縮減できると共に、停電時にも安全に避難できる。 近接する工事の仮設道路を共有することにより、事業費のコスト縮減を図った。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">当初計画</th> </tr> <tr> <td>平成 24 年度</td> <td>測量設計</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td>用地補償</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>改良工事</td> </tr> <tr> <th colspan="2">実績</th> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td>測量設計</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>用地補償</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年度</td> <td>改良工事、用地補償</td> </tr> <tr> <td>平成 28 年度</td> <td>改良工事、用地補償</td> </tr> </table> <p>本路線は、崖地に盛土をして拡幅する必要があり、工法の検討に期間を要したことから、当初計画より事業期間を 2 年延伸した。</p>		当初計画		平成 24 年度	測量設計	平成 25 年度	用地補償	平成 26 年度	改良工事	実績		平成 25 年度	測量設計	平成 26 年度	用地補償	平成 27 年度	改良工事、用地補償	平成 28 年度	改良工事、用地補償
当初計画																				
平成 24 年度	測量設計																			
平成 25 年度	用地補償																			
平成 26 年度	改良工事																			
実績																				
平成 25 年度	測量設計																			
平成 26 年度	用地補償																			
平成 27 年度	改良工事、用地補償																			
平成 28 年度	改良工事、用地補償																			
事業担当部局	茨城県日立市都市建設部道路建設課 電話番号：0294-22-3111（内線 762）																			